



TITLE:

生命リズムと振動子ネットワーク

AUTHOR(S):

CITATION:

生命リズムと振動子ネットワーク. 物性研究 2007, 87(4): 535-535

ISSUE DATE:

2007-01-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/110757>

RIGHT:

研究会報告

『生命リズムと振動子ネットワーク』

日時：2006年10月18日（水）－10月20日（金）

場所：札幌市北区北8条西7丁目 北海道大学クラーク会館 講堂

内容：

本研究集会は、北大における振動子研究関係の会議として、2005年11月に引き続き2回目となる。第1回は“German-Japanese Year”の行事の一環として、北大数学COEとドイツ政府の部分的支援のもと、日独の研究者が集まった。医学分野の研究者を招くなど、振動子研究の医療への応用を中心的議題としたが、基礎理論や生命現象一般への応用も含む幅広い内容のものとなった。

第2回目となる本研究集会では、「生命リズム」をキーワードに、さらに広い分野から研究者を集め、新しい分野間交流を作ることに重点を置いた。11名の招待講演者は、ロボット工学や体内時計の生理学など、基礎物理学の研究会にはあまりなじみのない分野からお招きした。また、一般講演には多数の応募をいただき、3日間で25の口頭発表と29のポスターという充実したプログラムとなった。札幌という開催条件にもかかわらず、全国から70名ほどの参加者が集まり、講演会ではレベルの高い講演と活発な議論がなされ、また懇親会も盛況であった。参加者の分野間交流に対する期待が感じられる会合となった。

研究会を通して、各参加者は新たな視点や交流関係を得られたことと思う。また、参加者たちの中から、別の研究会の企画がいくつかあがっていた。これも本研究会の大きな成果であろう。

世話人： 蔵本由紀、郡宏 （北海道大学）

協賛： 21世紀COEプログラム“特異性から見た非線形構造の数学”（北海道大学）

研究会ホームページ： <http://coe.math.sci.hokudai.ac.jp/sympo/061018/>

研究会連絡先： kori@nsc.es.hokudai.ac.jp （郡宏）